

平成29年度食の安全安心セミナー（大崎会場）開催結果

1	日 時	平成29年10月20日（金）午後2時から4時まで
2	場 所	宮城県大崎合同庁舎 大会議室
3	内 容	
	（1）講 演	「考えよう，健康食品の安全性と有効性」 講師 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部 梅垣 敬三 氏
	（2）質疑応答（会場との意見交換）	
4	参加者	29名（ほか事務局4名）

○質疑応答・意見交換の主な内容

Q.

医薬品と医薬部外品という表示を見るが，医薬部外品とはどのようなものを指すのか。

A.

医薬部外品とは，病気の治療を目的に使うものでなく，予防や衛生を目的に利用されるものである。含まれている成分はしっかりしているが医薬品に比べて体に対する作用があまり強くない。（医薬品とは）病院に行って処方箋により処方されるのが「処方薬」である。また，薬局などで扱っている医薬品には「第1類」「第2類」「第3類」があり，これらは作用の強さ，リスクの程度によって分けてある。そこまで至らないものが「医薬部外品」である。

医薬部外品は体に対する作用は強くないが食品ではない。食品とどこが違うかは，成分表示を見るとわかる。どのような成分が何ミリグラム入っているというのがきっちり書いてある。また，疲労回復，病気予防といった表示もできる。

医薬部外品は，コンビニでも売られている。特定保健用食品と同じところに並べられている場合があるが，製品の品質が違う。原材料の管理もしっかりしている。食品は，（医薬品に比べて）原材料の管理が甘い（厳密ではない）。

（梅垣先生より）

健康食品を使うきっかけは，テレビや友人・知人に聞いてというのがほとんどである。専門職にはあまり聞いていない。もし使う場合は，できるだけ医師，薬剤師，管理栄養士，保健師などの専門職に相談してほしい。専門職は，どううまく使うか，摂ったらどうなるかを理解している。専門職が調べる時には当方（国立健康・栄養研究所）のホームページを参照するようにお願いしている。使うとき不安があれば，専門職の人に相談してほしい。

Q.

今，漢方薬がブームだが，成分など，消費者にわかる表示，情報があれば教えてほしい。

A.

漢方薬は「薬」である。きちんと規格があり，きちんとした情報がインターネットにも出ている。漢方薬を健康食品と思われる人がいるが全く別物である。漢方薬の場合，原材料の起原がしっかりしている。そこが薬と食品との違いである。漢方薬の中に入っているものを食品で使っているものもあるが，成分・品質などの管理が全く異なる。薬と食品は全く違うもの。

薬の情報は，「PMDA（医薬品医療機器総合機構）」のホームページに情報が出ている。薬の場合は，食品と違いインターネットで検索するとそれなりに正確な情報が出ている。